

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C	令和4年(2022年)3月8日	
横断的な課題	2交流と地消地産や産業振興による地域の活性化						
地域重点政策	1若者・女性・外部人材の活躍推進					上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	若者の地域への就業促進				電話	0268-25-7140	
					E-mail	uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	中学校における産官学協働のキャリア教育実施を支援することを通じ、若者の地域での就業を促進する。					
	現状と課題	上田地域では進学等で地域を離れる若者が多い一方、公立化した長野大学では、出身地に戻ることを希望する県外出身学生が急増するなど、若者の地域への就業促進が大きな課題となっている。一方、学校におけるキャリア教育においては、地域の産業・企業について具体的に知る機会をさらに増やすことが重要と考えられている。また、新型コロナウイルス感染症を主な起因とした、新しい働き方(リモートワーク等)についても、キャリア教育において学ぶことが必要であるとする。					
内容 (変更後の内容)	内容	<p>モデル校(丸子中学校を予定)において、2年次のキャリア教育を産官学協働で実施する。実施方法は、新型コロナウイルス感染症のリスクを避けながらの学習(オンラインでの職業インタビュー等)とし、内容もコロナ禍における新しい働き方等についてインタビュー内で学習することを盛り込む。また、事業は前年度事業と同様の団体に委託し、モデル校と協議しながら進める。</p> <p>1 職業インタビュー事前学習の充実に向けたワークブックの作成 事前学習の時間において、自己分析や興味のある職業について生徒自身で調べ、書き込めるワークブック(試作版)を作成する。</p> <p>2 モデル校におけるキャリアウィーク(3日間)のコーディネート キャリアウィーク1日目において、「働く」ことについて理解を深める講演のほか、1で作成したワークブックを用いて、自己分析や職業について理解を深める講座を実施する。 2、3日目に、オンラインと企業現地での職業インタビューを実施する。 (生徒はオンラインと現地1社ずつインタビュー(昨年度はどちらか1社のみ))</p> <p>3 次年度以降キャリア教育での活用に向けたまとめ 2の結果を踏まえたワークブック(試作版)の内容見直し及び次年度以降のキャリア教育実施に向けた企画案(報告書)の作成</p>					
	事業期間	R3年(2021年)5月		～	R4年(2022年)1月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	職業インタビュー事前学習の充実	ワークブックの作成	970,000	事業実施委託費			
	キャリアウィークのコーディネート	キャリアウィークの実施コーディネート					
	次年度以降に向けた準備	ワークブックの内容見直し 報告書の作成					
合計		970,000					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	モデル校における、職業インタビュー先企業数		20企業	38企業	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成		
	地域で働くことへの興味が高まった生徒の割合		7割以上	75%			
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)グローバル・リソース・センターに委託し実施した。 ・7/1～7/3に丸子中学校にてキャリアウィークを実施し、講演会等により事前学習の充実を図るとともに、オンライン及び現地訪問により計38企業に職業インタビューを行い、生徒の地元企業に対する興味関心を高めることができた。 ・今年度の事業結果を踏まえ、事前学習用ワークブック及び報告書を作成し、管内の中学校に送付した。 						
今後の方向性	次年度以降、他校にも波及するものとなるよう市教育委員会とも連携していく。						